

日本母乳バンク協会へファッションモデル 蛭原 友里さんが授乳ケープを寄付 贈呈式を日本橋母乳バンクにて開催

早産で生まれた赤ちゃんやそのご家族への理解を深めてもらう、11月17日の「世界早産児デー」にあたり、ファッションモデル 蛭原 友里さんが「日本橋 母乳バンク」にお越しになり、一般社団法人 日本母乳バンク協会にご自身がデザインされた授乳ケープとしても使用可能なキャミソールをご寄付くださいました。

贈呈式後には、日本橋母乳バンクの施設見学のほか、蛭原さんと代表理事 水野の対談も行われました。対談では、蛭原さんからは母乳バンクを応援したいと思ったきっかけを伺い、水野からは母乳バンクの必要性や課題についての説明がありました。



「日本橋 母乳バンク」前に行われたケープ贈呈の様子



ドナーミルクについての説明を受けている蛭原さんの様子



蛭原さんが母乳バンクへ訪問する様子



蛭原さんと水野の対談の様子

●一般社団法人 母乳バンク協会 代表理事 水野 克己のコメント

蛭原さんから授乳もできるキャミソールをプレゼントいただきました。ありがとうございます。2人のお子さんを育てながら、笑顔いっぱい日々お仕事されている友里さんの姿を見ることで、たくさんのお母様がきっと元気になるだろうと思っています。母乳バンクの取り組みを通じて、小さく生まれた赤ちゃんのご家族や、ドナーの方にも笑顔が届けられると嬉しいです。

●蛭原 友里さんのコメント

母乳バンクの普及に取り組む水野克己先生は、長男が小さい頃からお世話になっている、我が家にとって主治医のような存在です。「母の笑顔は太陽です」という私の子育てのモットーは、先生に教えてもらったもの。子育てに悩んだときでも、水野先生は「いつでも笑顔で、ハグしてあげるだけで大丈夫」と優しく励まし、温かく見守ってくれます。母乳バンクは、小さな赤ちゃんの健やかな成長、またお母さんが笑顔で過ごせる未来のための取り組みです。まずは興味を持って、知るところから。母乳バンクを知っていただくきっかけとなるよう、少しでもお役に立てたら幸いです。

■寄付の背景と内容

日本母乳バンク協会の水野が蛭原さんのお子さんの主治医だったことがきっかけとなり、蛭原さんは水野の取り組みを聞き、母乳バンクの活動に共感していただいております。

今回の寄付は、母乳バンクの活動に協力できないかという蛭原さんの想いで実現しました。蛭原さんは、ファッションモデルとしての活動を通じて得た「身に着けるものからパワーをもらえる」という考えから、NICUに我が子が入院しながらも、ドナーとして母乳を提供しているママたちへの寄付を申し出てくださりました。

- 配布対象：NICU が設置されたドナー登録病院のうち、本企画に賛同された病院（NICU に我が子が入院しながらも、ドナーとして母乳を提供しているママ）
- 数量：各対象病院からの申請に基づきご提供
- 寄付品：KHARAT（キハラ）授乳ケープにもなるキャミソール「Silk Volume Camisole」
- 寄付者：蛭原 友里さん
- 1979 年 10 月 3 日宮崎県生まれ。2002 年に雑誌「CanCam」でデビュー後、数多くの雑誌や CM、テレビに出演。現在もファッション誌「STORY」のカバーモデルを始め、番組 MC や広告モデルとして活躍する、日本を代表するファッションモデル。私生活では 2 児の母。



今回寄付いただいた
授乳ケープにもなるキャミソール

■日本母乳バンク協会 クラウドファンディング実施中

日本母乳バンク協会では、安全なドナーミルクを多くの赤ちゃんにもっと効率よく提供するため、“社会課題の解決をみんなで支えあう新しいクラファン”「CAMPFIRE for Social Good」にて、ドナーミルクを供給するための支援金を受け付けています。集まった支援金は、ドナーミルクを必要とする全ての赤ちゃんに届けていくための最新式低温殺菌処理器を購入する資金にあてる計画です。

日本母乳バンク協会は、皆さまの温かいお気持ちにより成り立っている団体です。ご支援の程よろしく願いいたします。

クラウドファンディングサイト：

<https://camp-fire.jp/projects/657949/activities>

